



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月1日

上場会社名 住友重機械工業株式会社 上場取引所 東・大
 コード番号 6302 URL <http://www.shi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 中村 吉伸
 問合せ先責任者 (役職名) IR広報室長 (氏名) 大島 秀夫 (TEL) 03-6737-2333
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月7日 配当支払開始予定日 平成24年12月3日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	293,251	△0.3	17,401	△19.4	16,577	△17.8	9,842	6.6
24年3月期第2四半期	294,068	16.7	21,579	32.4	20,168	36.1	9,236	16.6

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 8,653百万円(△7.3%) 24年3月期第2四半期 9,338百万円(123.9%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	16.04	—
24年3月期第2四半期	15.04	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	648,198	287,220	43.8
24年3月期	691,841	282,145	40.3

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 283,639百万円 24年3月期 278,888百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	4.00	—	6.00	10.00
25年3月期	—	4.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	4.00	8.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	600,000	△3.9	32,000	△32.1	29,000	△35.0	16,500	△15.3	26.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第10条の5に該当するものであります。詳細は、添付資料5ページ「2. サマリー情報(その他)に関する事項 (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数 (四半期累計)

25年3月期2Q	614,527,405株	24年3月期	614,527,405株
25年3月期2Q	826,787株	24年3月期	811,946株
25年3月期2Q	613,709,170株	24年3月期2Q	614,176,736株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等につきましては、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(その他)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	8
四半期連結包括利益計算書	9
(3) 継続企業の前提に関する注記	10
(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
(5) 重要な後発事象	10
4. 補足情報	11
(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高	11
(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、震災復興需要による景気回復が見られたものの長引く円高の影響もあり全体的には不安定な状況にあります。また、海外では米国において一部に景気回復の兆しが見られるものの、欧州においては金融不安長期化の影響が出始める一方、世界経済を下支えしていた中国経済も軟調に推移しており全体的に低調な状態にあります。

このような経済環境のもと、当社グループはグローバルサプライチェーンの拡充を行うなどの円高対策を推し進め競争力強化に向けた事業運営を行いました。

この結果、受注高につきましては船舶を除く全部門で減少し、前年同期比12%減少の2,666億円となりました。売上高につきましては、機械コンポーネント、建設機械、船舶、その他部門で減少し、前年同期比0%減少の2,933億円となりました。

損益面では、売上高はほぼ前年同期並みであったものの長引く円高の影響もあり営業利益は前年同期比19%減少の174億円、経常利益は前年同期比18%減少の166億円となりました。四半期純利益は前年同期に計上した減損損失が当第2四半期連結累計期間ではなかったことなどにより、前年同期比7%増加の98億円となりました。

各部門別の状況は、以下のとおりであります。

① 機械コンポーネント部門

欧州を中心に海外市況が軟化すると同時に国内需要も低迷したことから受注、売上ともに前年同期を下回ることとなりました。この結果、受注高は464億円(前年同期比6%減)、売上高は453億円(前年同期比2%減)、営業利益は5億円となりました。

② 精密機械部門

プラスチック加工機械事業は、東アジア市場におけるIT関連市況が軟化したこともあり受注は前年同期を下回り、売上は受注残があったことから増加いたしました。その他事業は、電子、半導体市況が低調に推移したこともあり部門全体で受注は減少し、売上は増加いたしました。この結果、受注高は650億円(前年同期比12%減)、売上高は716億円(前年同期比4%増)、営業利益は55億円となりました。

③ 建設機械部門

油圧ショベル事業は、中国市況の軟化を受け受注、売上ともに前年同期を下回りました。建設クレーン事業は、北米市場の回復が見られたことから受注、売上ともに増加いたしました。この結果、受注高は795億円(前年同期比8%減)、売上高は786億円(前年同期比2%減)、営業利益は31億円となりました。

④ 産業機械部門

タービン・ポンプ事業は、円高の影響もあり輸出案件が低調に推移し、運搬機械事業につきましても製鉄、造船向け需要が減少し前年同期に比べ受注は減少いたしました。一方、売上は受注残があったことから前年同期を上回りました。この結果、受注高は352億円(前年同期比19%減)、売上高は380億円(前年同期比2%増)、営業利益は35億円となりました。

⑤ 船舶部門

船舶市況が引き続き低調に推移したことから新造船につきましては前年同期と同様に受注がなく、売上は昨年同期よりも2隻少ない2隻の引渡しとなりました。この結果、受注高は49億円(前年同期比25%増)、売上高は223億円(前年同期比28%減)、営業利益は28億円となりました。

⑥ 環境・プラント部門

エネルギープラント事業は、一部に回復が見られたものの、水処理プラント事業の市況が低調に推移したことから受注は減少し、売上は受注残が多かったことにより増加いたしました。この結果、受注高は312億円(前年同期比22%減)、売上高は334億円(前年同期比24%増)、営業利益は14億円となりました。

⑦ その他部門

受注高は43億円(前年同期比0%減)、売上高は41億円(前年同期比5%減)、営業利益は6億円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末(平成24年9月30日)における総資産は、前連結会計年度末と比べてたな卸資産が53億円増加した一方、現金及び預金が297億円、受取手形及び売掛金が129億円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比436億円減の6,482億円となりました。

負債合計は、支払手形及び買掛金が229億円、有利子負債残高が87億円、法人税等の支払により未払法人税等が88億円それぞれ減少したことなどにより、前連結会計年度末比487億円減の3,610億円となりました。

純資産は、利益剰余金が62億円増加したことなどにより、前連結会計年度末比51億円増の2,872億円となりました。

以上の結果、自己資本比率は、前連結会計年度末比3.5ポイント増加し、43.8%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間において、たな卸資産の増減額が増加し、仕入債務の増減額が減少し、法人税を支払ったことなどにより、47億円の支出(前年同期は135億円の収入)となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出が増加したことなどにより前年同期比34億円増の121億円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、有利子負債の返済による支出が増加したことなどにより、前年同期比132億円増の138億円の支出となりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末と比較して301億円減の423億円となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高は修理船の増加などにより船舶部門は増加しましたが、建設機械部門の油圧ショベルが中国市場の市況低迷などにより減少し、精密機械部門が市況低迷を受け減少したことなどにより、前回発表予想から減少いたしました。利益につきましては、修理船の売上高が増加した船舶部門をはじめ、精密機械部門及び産業機械部門でコストダウン効果が寄与したことなどにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益のいずれも前回発表予想から改善いたしました。

通期につきましては、当社グループを取り巻く経営環境が不透明であり、先行き懸念もありますが、当第2四半期連結累計期間の業績なども勘案し、売上高につきましては、建設機械部門の減少などにより下方修正することとし、営業利益・経常利益・当期純利益につきましては従来の予想通りといたします。

なお、平成24年5月に、当社の装備システム事業部及び連結子会社1社が防衛省との契約で、作業時間を過大に計上している案件があることが判明し、防衛省より指名停止の措置を受けております。

こうした場合の契約条項に従って今後支払の発生が予想されますが、現在、防衛省の調査に協力しているところであり、金額が見積もれず、支払時期も未定のため、今回の業績見通しに織り込んでおりません。

また、第3四半期連結会計期間以降の主な為替レートは、1ドル=78円、1ユーロ=100円と想定しております。

平成24年7月31日発表の第1四半期決算で発表いたしました通期の連結業績予測との差異は以下のとおりです。

(平成25年3月期 通期)

	売上高 (百万円)	営業利益 (百万円)	経常利益 (百万円)	当期純利益 (百万円)	1株当たり 当期純利益 (円 銭)
前回発表予想(A)	620,000	32,000	29,000	16,500	26.89
今回発表予想(B)	600,000	32,000	29,000	16,500	26.89
増減額(B-A)	△20,000	—	—	—	—
増減率(%)	△3.2	—	—	—	—
(ご参考)前期実績	624,100	47,135	44,619	19,492	31.75

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以降に取得した有形固定資産につきましては、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

これによる当第2四半期連結累計期間の損益への影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	73,373	43,652
受取手形及び売掛金	181,248	168,340
たな卸資産	143,922	149,217
その他	31,357	25,892
貸倒引当金	△855	△1,033
流動資産合計	429,046	386,068
固定資産		
有形固定資産		
土地	116,306	116,323
その他(純額)	103,506	105,302
有形固定資産合計	219,812	221,625
無形固定資産		
その他	6,374	6,768
無形固定資産合計	6,374	6,768
投資その他の資産		
その他	38,022	35,155
貸倒引当金	△1,414	△1,418
投資その他の資産合計	36,609	33,737
固定資産合計	262,795	262,131
資産合計	691,841	648,198
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	153,843	130,975
短期借入金	27,383	38,941
1年内返済予定の長期借入金	19,796	9,901
コマーシャル・ペーパー	—	5,000
引当金	10,456	8,933
その他	76,982	60,718
流動負債合計	288,461	254,467
固定負債		
社債	10,000	10,000
長期借入金	39,343	23,988
退職給付引当金	35,884	36,717
引当金	54	55
再評価に係る繰延税金負債	27,651	27,651
その他	8,303	8,100
固定負債合計	121,235	106,511
負債合計	409,696	360,978

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	30,872	30,872
資本剰余金	23,789	23,789
利益剰余金	201,433	207,621
自己株式	△445	△445
株主資本合計	255,649	261,837
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,267	890
繰延ヘッジ損益	277	662
在外子会社年金債務調整額	△3,573	△3,635
土地再評価差額金	43,381	43,642
為替換算調整勘定	△19,113	△19,757
その他の包括利益累計額合計	23,239	21,802
少数株主持分	3,258	3,581
純資産合計	282,145	287,220
負債純資産合計	691,841	648,198

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	294,068	293,251
売上原価	230,660	231,748
売上総利益	63,408	61,503
販売費及び一般管理費	41,829	44,101
営業利益	21,579	17,401
営業外収益		
受取利息	89	150
受取配当金	314	607
その他	1,351	1,278
営業外収益合計	1,754	2,035
営業外費用		
支払利息	777	993
その他	2,388	1,865
営業外費用合計	3,165	2,859
経常利益	20,168	16,577
特別損失		
投資有価証券評価損	2,155	1,030
契約損失	374	—
減損損失	229	—
特別損失合計	2,758	1,030
税金等調整前四半期純利益	17,410	15,547
法人税等	7,555	5,434
少数株主損益調整前四半期純利益	9,855	10,113
少数株主利益	619	271
四半期純利益	9,236	9,842

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,855	10,113
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	△1,377
繰延ヘッジ損益	265	401
在外子会社年金債務調整額	95	△62
為替換算調整勘定	△908	△431
持分法適用会社に対する持分相当額	△5	9
その他の包括利益合計	△517	△1,460
四半期包括利益	9,338	8,653
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	8,667	8,338
少数株主に係る四半期包括利益	671	315

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(5) 重要な後発事象

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) セグメント別受注高・売上高及び営業損益・受注残高

① 受注高

(単位：百万円)

セグメント	前年同四半期 (23/4 ~ 23/9)	当第2四半期 (24/4 ~ 24/9)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	49,239	46,392	△2,847	△5.8
精密機械	74,056	65,019	△9,037	△12.2
建設機械	86,419	79,533	△6,886	△8.0
産業機械	43,408	35,239	△8,169	△18.8
船舶	3,899	4,862	963	24.7
環境・プラント	40,215	31,222	△8,992	△22.4
その他	4,322	4,309	△13	△0.3
合計	301,557	266,576	△34,981	△11.6

② 売上高及び営業損益

(単位：百万円)

セグメント	前年同四半期 (23/4 ~ 23/9)		当第2四半期 (24/4 ~ 24/9)		増減	
	売上高	営業損益	売上高	営業損益	売上高	営業損益
機械コンポーネント	45,999	2,221	45,271	527	△728	△1,694
精密機械	68,567	6,009	71,642	5,501	3,074	△508
建設機械	79,910	3,936	78,557	3,120	△1,353	△817
産業機械	37,246	4,885	38,014	3,483	768	△1,402
船舶	31,078	5,679	22,265	2,754	△8,813	△2,925
環境・プラント	26,965	△1,966	33,403	1,431	6,438	3,398
その他	4,302	841	4,101	567	△201	△274
調整額	—	△25	—	18	—	43
合計	294,068	21,579	293,251	17,401	△817	△4,178

③ 受注残高

(単位：百万円)

セグメント	前期末 (24.3.31)	当第2四半期末 (24.9.30)	増減	
	金額	金額	金額	比(%)
機械コンポーネント	27,990	29,111	1,121	4.0
精密機械	68,488	61,865	△6,623	△9.7
建設機械	25,358	26,334	977	3.9
産業機械	68,400	65,625	△2,775	△4.1
船舶	46,353	28,950	△17,403	△37.5
環境・プラント	70,174	67,994	△2,180	△3.1
その他	1,585	1,793	208	13.2
合計	308,348	281,673	△26,675	△8.7

当社のセグメント区分は以下のとおりであります。

事業区分	主要製品
機械コンポーネント	減・変速機、モータ
精密機械	プラスチック加工機械、フィルム加工機械、半導体製造装置、レーザ加工システム、極低温冷凍機、精密位置決め装置、加速器、医療機械器具、液晶ディスプレイ製造装置、精密鍛造品、制御システム装置、防衛装備品、工作機械
建設機械	油圧ショベル、建設用クレーン、道路機械
産業機械	鍛造プレス、運搬荷役機械、物流システム、駐車場システム、タービン、ポンプ
船舶	船舶
環境・プラント	自家発電設備、ボイラ、産業廃棄物処理設備、大気汚染防止装置、水処理装置、プロセス装置、反応容器、攪拌槽、空調設備、食品製造機械

(2) (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前年同四半期 (23/4～23/9)	当第2四半期 (24/4～24/9)	増減
税金等調整前四半期純利益	17,410	15,547	△1,863
減価償却費	8,526	8,455	△71
売上債権の増減額(△は増加)	4,524	8,941	4,417
たな卸資産の増減額(△は増加)	△6,819	△4,316	2,503
仕入債務の増減額(△は減少)	2,111	△23,487	△25,599
法人税等の支払額	△13,423	△13,811	△388
その他	1,205	3,940	2,736
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,533	△4,731	△18,265
固定資産の取得による支出	△10,042	△12,588	△2,545
固定資産の売却による収入	1,294	1,058	△236
投資有価証券の売却による収入	143	281	138
その他	△61	△852	△791
投資活動によるキャッシュ・フロー	△8,667	△12,101	△3,434
借入金等の増減額(△は減少)	5,353	△8,712	△14,066
配当金の支払額	△4,900	△3,671	1,230
その他	△1,096	△1,444	△347
財務活動によるキャッシュ・フロー	△643	△13,826	△13,183
その他	500	590	90
現金及び現金同等物の期首残高	51,700	72,376	20,676
現金及び現金同等物の四半期末残高	56,424	42,307	△14,117